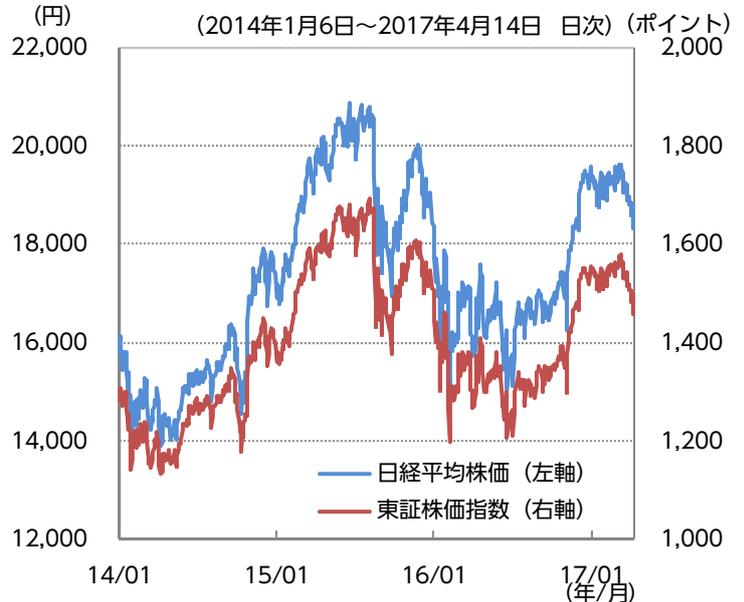




## (1) 日本の株式・債券市場

### 株式市場の動き

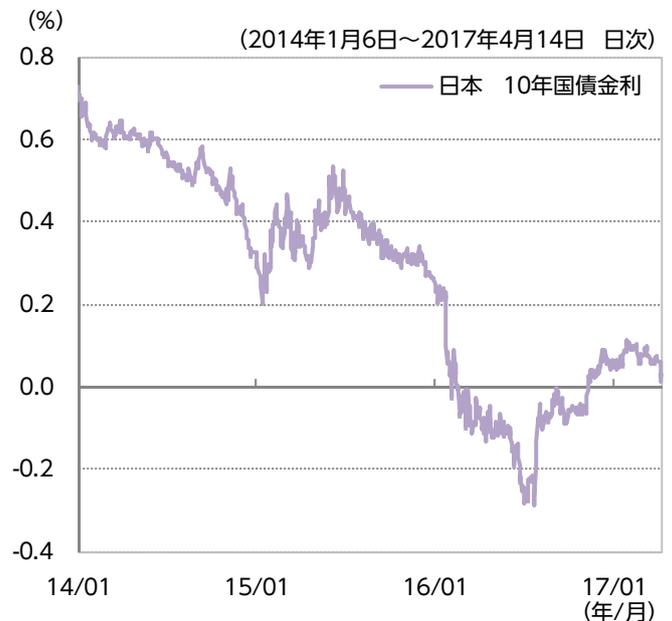
- 先週の日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で下落となりました。週初は前週末から引き続き上昇したものの、北朝鮮やシリア情勢など地政学リスクの高まりを背景とした投資家心理の悪化により、12日（水）から週末まで3営業日連続で年初来安値を更新しました。（週末引け値：18,335.63円）
- 週間では、日経平均株価は1.76%の下落、東証株価指数は2.06%の下落でした。



出所：ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

### 債券市場の動き

- 先週の日本債券市場（10年国債金利）は、週を通じて概ね下落基調となりました（価格は上昇）。シリアや北朝鮮を巡る地政学リスクの高まりを受けて、相対的に価格変動の少ないとされる債券は買いが先行しました。また、日経平均株価の下落も投資家心理の悪化を通じて債券買いにつながりました。（週末引け値：0.010%）
- 週間では、10年国債金利は0.051%の下落となりました。



出所：ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品をお勧めするものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

## (2) 米国の株式市場

### 市場の動き

- 先週の米国株式市場（NYダウ）は、週を通じて概ね下落基調となりました。北朝鮮情勢の緊迫化や、米軍によるアフガニスタン空爆などの地政学リスクの高まりから、売られる展開となりました。12日（水）に米国の原油生産量の増加が嫌気され、原油価格が下落したこと等も株価下落の要因となりました。（週末引け値：20,453.25ドル）
- 週間ではNYダウは0.98%の下落となりました。

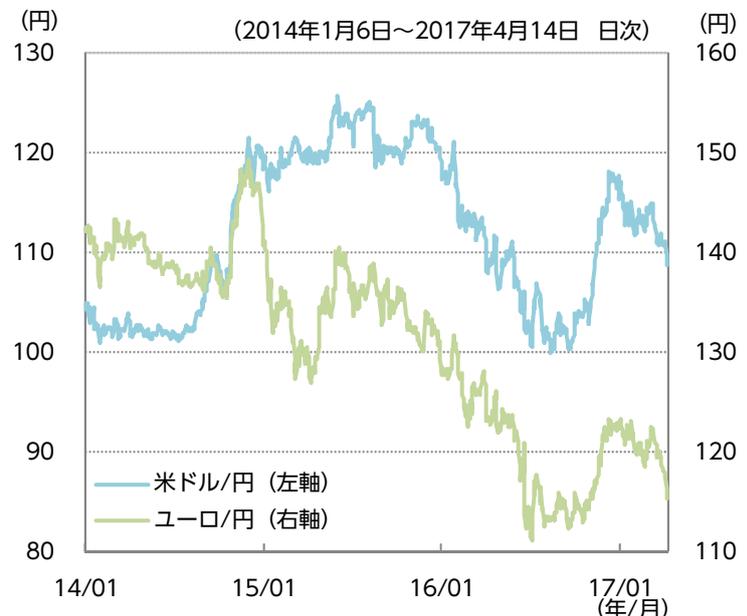


出所：ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

## (3) 外国為替市場

### 市場の動き

- 先週の米ドル/円相場は、前週末比で円高/米ドル安となりました。シリア情勢や北朝鮮問題といった地政学リスクの高まりを背景に、国内投資家の間で海外から資金を引き上げる動きが広がり、円買い米ドル売りが進行しました。また、トランプ米大統領による米ドル高けん制発言も円買いを誘いました。（週末引け値：108円55銭～65銭）
- 週間では米ドル/円は2.21%の円高、ユーロ/円は1.95%の円高となりました。



出所：ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品をお勧めするものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。